

## 外郭団体中期経営計画シート(平成30年度～平成32年度)

外郭団体名	社会福祉法人 堺市社会福祉協議会	設立年月日	S27年5月30日設立	所管課	健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課
-------	------------------	-------	-------------	-----	-------------------

### 1. 基本方針

設立目的	求める役割 【所管局】	外郭団体が目指すべき将来像
<p>(定款第1条) 堺市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。</p>	<p>堺市の地域福祉の総合的な推進をめざして、区事務所を中心に地域住民やボランティアの活動支援等を行い、つなぎ役や相談支援の機能を活用して、関係機関・団体等と協働して具体的な福祉課題の解決に取り組むこと。</p>	<p>(堺市社会福祉協議会 ビジョン) 専門性と組織力を駆使し、新しい価値ある地域福祉システム(活動・事業・関係性)を創りつづけ、信頼され、継続性のある組織。</p>

### 2. 環境分析

外郭団体による環境分析	所管局による環境分析 【所管局】	外郭団体の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の進展に伴う人口構造の急激な変化、家庭や地域の環境、経済構造、雇用形態の変容により、生活困窮、社会的孤立など、既存の制度の枠組みでは十分に対応できない福祉・生活課題が顕著となっている。</li> <li>・上記課題への対応として、平成28年6月閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」が示され、厚生労働省に「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」が設置された。</li> <li>・外郭団体の自立性を高めることが求められている中、全国的に社会福祉協議会の役割についても議論され、特性を生かした取組が期待されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、人口減少が進む中、高齢者が地域の中で担い手となって活躍し、介護予防につなげる取組が重要となっている。</li> <li>・地域のつながりが希薄化するなか、地域資源・人的資源の掘り起こしを図り、多様な主体が連携しながら地域づくりを行うことが求められている。</li> <li>・国において議論が進んでいる地域共生社会の実現に向け、堺市社会福祉協議会がこれまで培ってきた地域とのネットワークなどを活用しながら取組を進めることが期待されている。</li> <li>・自主財源のさらなる確保に向けて取組を進めていく必要性が求められている。</li> </ul>	<p>「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向け、堺市内の行政・社協・関係機関が包括的・横断的・一体的に相談支援をすすめていくための牽引役を果たす。 また、第5次堺市社協地域福祉総合推進計画(H29中間見直し)に基づいて、①くらしをまもる、②つながりをつくる、③地域福祉を創る の3つの機能をより一層強化するとともに、次期計画(平成32年度～)を見据え、複雑多様化するニーズに対応した事業を展開する。</p>

#### 4. 中期経営目標(平成30年度～平成32年度)

中期 経営 目標	<p>堺市社会福祉協議会として、平成28年6月に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」が提唱する地域共生社会の実現、「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」が提唱する身近な圏域における住民主体による地域課題の解決力を強化する体制と、包括的な相談支援体制を構築していく。</p> <p>堺市社会福祉協議会は、堺市社協地域福祉総合推進計画に基づき各種事業を進めてきた。平成26年度から31年度の6年間に計画期間としている第5次計画については、平成29年度に中間見直しを図り、下半期(平成29～31年度)は以下の点を追加・強化し、引き続き事業を推進する。①地域包括圏域に日常生活圏域コーディネーターを社協区事務所に配置して個別支援から地域支援まで一体的に取り組む。②子どもから高齢者まで地域のなかで集える居場所づくりを推進する。③専門職や住民リーダーのスキル向上に向けた地域福祉の研修機能を強化する。④市と各区における相談支援機関のネットワークづくりと相談支援機能、課題解決の仕組みを行政とともに構築する。</p> <p>また、平成32年度にスタートする第6次堺市社協地域福祉総合推進計画の策定に取り組む。</p>
	所管局意見【所管局】
	<p>国における地域共生社会の実現に向けた改革工程においては、課題を「丸ごと」受け止める場の創出や地域住民が他人の福祉課題を「我が事」として受け止める体制の整備を行うこととなっている。本市においては、これまで堺市社会福祉協議会が先導的に進めてきた地域住民における地域福祉活動が活発であり、このような基盤を活かしつつ、平成29年度に行った「堺あったかぬくもりプラン3」の中間見直しのなかで追加・強化する点について本市と連携を図りながら引き続き事業を推進していただきたい。</p>



#### 5. 中期経営方針

中期 経営 方針	平成30年度方針	平成31年度方針	平成32年度方針
	<p>第5次計画(中間見直し)に基づき、各事業を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度にモデル配置した中区・南区に加え、堺区・東区にも生活支援コーディネーター(日常生活圏域コーディネーター)を配置し、身近な圏域における住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりの実践を通じて、全市展開について協議する。</li> <li>・「子ども食堂」など子どもが安心して集うことのできる居場所づくりを推進する。(目標値:平成29年度からの3か年で90か所(1年度に30か所程度))</li> <li>・地域福祉型研修センター機能を開始し、これまでの検証をふまえ、3区分(①専門職向け②住民向け③専門職と住民の協働)の研修実施や福祉関係研修のポータルサイトを稼働。</li> </ul>	<p>次期計画(第6次計画)の策定期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29・30年度の取組をふまえ、生活支援コーディネーター(日常生活圏域コーディネーター)の取組について全市展開をめざす。</li> <li>・「子ども食堂」など子どもが安心して集うことのできる居場所づくりを推進する。(目標値:平成29年度からの3か年で90か所(1年度に30か所程度))</li> <li>・地域福祉志向の担い手づくりにむけて、平成30年度の取組をより一層強化し、事業展開を行う。</li> </ul>	<p>第6次計画開始</p> <p>社協がこれまで培ってきた様々なネットワークおよび各事業を横断的・一体的に展開し、既存の制度の枠組みでは十分に対応できない福祉・生活課題に対し、行政・社協・関係機関とともに総合的な相談支援体制を構築する。</p> <p>また、各事業を通じて明らかになった課題解決にむけ、行政や関係機関とともに新しい事業や施策につなげる取組を継続実施する。</p>
	→	→	→

#### 6. 特記事項

特記事項【所管局】	
-----------	--